



news release

ポケットカード株式会社(8519) 平成23年2月期第2四半期決算概況
営業収益182億71百万円、経常利益7億94百万円、四半期純利益8億31百万円

※当社は、当第1四半期より個別財務諸表のみ作成しております。前年同期の比較対象としては、前第2四半期連結財務諸表数値を使用しております。

ポケットカード株式会社(8519)の平成23年2月期第2四半期決算は、割賦購入あっせん部門及びプロセシング部門が順調に推移したものの、6月に実施された貸金業法の完全施行への対応を一層進めたことにより、融資部門においてキャッシング残高の減少、貸付金利の低下が進んだ結果、営業収益全体では182億71百万円(前年同期比4.2%減)となりました。

一方、経営改善計画を柱とした全社的な業務効率化、コスト削減を着実に実行したことに加え利息返還関連費用が減少した結果、営業費用は174億80百万円(前年同期比12.0%減)と減少し、営業利益は7億90百万円、経常利益は7億94百万円、四半期純利益は8億31百万円となりました。

割賦購入あっせん部門につきましては、日常支出におけるクレジットカード決済の浸透や個人消費の持ち直し等の影響によりクレジットカードショッピング取扱高が1,404億73百万円(前年同期比4.0%増)と堅調に推移したことに加え、ショッピングリボ推進に向けた各種取り組みを強化した結果、ショッピングリボ残高は348億39百万円(前年同期比22.5%増)と増加し、営業収益は前年同期に比べ5億59百万円増加の47億66百万円(前年同期比13.3%増)となりました。

プロセシング部門につきましては、保証債務残高が485億69百万円(前年同期比33.9%増)と順調に拡大したことにより、営業収益は前年同期に比べ6億23百万円増加の22億94百万円(前年同期比37.4%増)となりました。

一方、融資部門につきましては、6月に実施された貸金業法の完全施行への対応を一層進めたことにより、融資残高の減少、貸付金利の低下が進んだ結果、営業収益は前年同期に比べ20億99百万円減少の105億12百万円(前年同期比16.6%減)となりました。

以上の結果、営業収益全体では182億71百万円(前年同期比4.2%減)となりました。

営業費用につきましては、経営改善計画を柱とした全社的な業務効率化、コスト削減を着実に実行したことに加え利息返還関連費用が減少した結果、営業費用全体では174億80百万円(前年同期比12.0%減)となりました。

以上の結果、営業利益は7億90百万円、経常利益は7億94百万円、四半期純利益は8億31百万円となりました。

【単位：百万円】

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益
平成23年2月期 第2四半期	18,271	790	794	831
平成22年2月期 第2四半期	19,070	△788	△790	△478
前年同期比	△4.2%	—	—	—

以上